

製品名: TAF I p48 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18606**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	53kDa

抗原情報

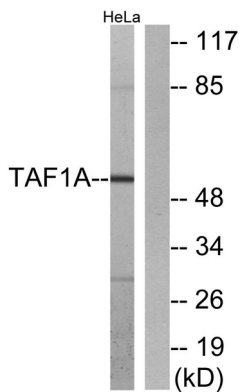
遺伝子名	TAF1A
別名	TAF1A; TATA box-binding protein-associated factor RNA polymerase I subunit A; RNA polymerase I-specific TBP-associated factor 48 kDa; TAFI48; TATA box-binding protein-associated factor 1A; TBP-associated factor 1A; Transcription factor SL1;
遺伝子 ID	9015.0
SwissProt ID	Q15573
免疫原	抗血清はヒト TAF1A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 301-350

背景

この遺伝子は、RNAポリメラーゼI複合体のサブユニットである選択因子I (SLI) をコードしています。コードされているタンパク質は、RNAポリメラーゼI開始前複合体の組み立てに関与するTATAボックス結合タンパク質関連因子です。選択的スプライシングにより、複数のアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq提供、2011年1月]、機能:PIC (開始前複合体) の組み立てに関与する転写因子SL1/TIFIB複合体の構成要素。サブユニット:転写因子SL1/TIFIB複合体の構成要素で、TBPと少なくともTAF1A、TAF1B、およびTAF1Cで構成されています。複合体内で、TBP、TAF1B、およびTAF1Cと直接相互作用します。SL1/TIFIBサブユニットとTBPの相互作用により、転写因子IID (TFIID) サブユニットとの相互作用は排除されます。この相互排他的結合は、プロモーターとRNAポリメラーゼ選択的TBP-TAF複合体の形成を誘導します。

研究分野

画像データ



TAF1A抗体を用いたHeLa細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。